

旭川ウェルビーイング・コンソーシアムの理念・目的

旭川エリアが有する豊かな自然環境、森林、温泉、安心安全な農畜産物等の健康保養資源を基盤として、地域資源に根ざした居住・生活環境、農畜産・食品加工製造、健康保養・観光等の産業を中心とした産業界との協働と、圏域住民と行政の自主的・積極的な参加のもとに、医療機関が集積する旭川エリアの地域優位性を活用し、旭川医科大学をはじめとする高等教育機関・公設研究機関等を中心としたコンソーシアムを形成し、科学的エビデンスに基づいた諸取組みを継続的に実践することにより、圏域住民の身体的・精神的・社会的な健康（ウェルビーイング）を達成するとともに旭川エリアの教育・地域振興を図ることを目指す。

旭川キャンパス・AWBCの概念



旭川エリアの地域特異性・優位性

- 人口34万人の地方都市でありながら
- 健康を支える基盤である自然・食材資源
 - 旭川近郊の豊かな自然環境・健康保養地
 - 安心安全な農畜産物の生産地
 - 太平洋・日本海・オホーツク海からの魚介類の集積
- 健康の保持・増進を支える医療資源
 - 地域貢献を担う旭川医科大学を中核とした
 - 医療・保健・福祉機関の集積
- 住民生活に直結する地元産業群の社会資源
 - 生活環境(住宅、家具など)、食品製造加工、機械加工、IT
 - 温泉、動物園など(癒し系)健康保養産業
- 高等教育機関、公設研究機関の高度集積
 - 4大学1高専1短期大学、道立研究所、市立センター

AWBC・関係自治体・諸団体等

- 中核機関：旭川圏域高等教育機関
 - 旭川医科大学（代表）
 - 北海道教育大学旭川校
 - 旭川大学
 - 旭川大学短期大学部
 - 東海大学札幌キャンパス
 - 旭川工業高等専門学校
- 関係自治体
 - 旭川市・北海道上川総合振興局
- 公設研究所
 - 北海道立総合研究機構（林産、北方建築、農業）
 - 旭川市立研究所（工芸センター、工業技術センター、農業センター）
- 諸団体等
 - 一般財団法人産業創造プラザ、商工会議所